

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 30日

事業所名 多機能型事業所 きらめき読谷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	5	バギーを外に出したり、医療器の配置場所等事故にならないよう配慮している。	午後に放デイの児童が帰ってくると活動スペースが狭くなるので、室内活動を分け、児童が過ごしやすい環境を工夫します。
	2	職員の配置数は適切である	4	4	見守りが手薄になるときは、活動内容など変更している。	学校送迎にスタッフが出ている時と、放デイが帰って来てからの人手が足りない時間帯での職員の増員を検討する
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1		児童に関わる全ての物品が同じ空間にある為、児童が多い日などは、雑然とした状況になっているので、収納スペースを工夫し、バリアフリー化に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	ホールには、出来るだけ物を置かない様にしこまめに環境整備を行っている。	児童の活動に合わせた空間は不十分なので、日頃からこまめに整理整頓を実践し環境整備を行います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		職員が多く参加できるように曜日や時間を設定している	事業所会議を設け全体で取り組んでいます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			意見箱を設置し、保護者からの意見を伺い、迅速に対応を心掛ける
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			今後、改善を行い4月に公開予定。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			第三者は設置していない。まずは、保護者からのご意見権を参考に改善を図る
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	DVD研修を曜日を決めてスタッフが受講できるようにしている。	コロナ禍で外部講師を招く事ができなかったため次年度は招くことを検討。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		普段から保護者との情報交換を心掛けて必要な支援が行えるようにしている。	モニタリング内容をまとめ職員で共有し、支援会議にてチームで計画を作成
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		標準化されたツールがあるのか分からないとの声があり、職員間での情報共有に不足があるため、支援会議を通して活用を図る
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			関係機関と連携し、情報を共有しています。また、利用児だけでなく、保護者のニーズにも応えていけるよう協力体制を強化しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		活動内容に個別活動も盛り込んでいる。	今後も、支援会議を行い、情報を共有した上で、個別支援計画書を作成し実践しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	事業所会議で意見を出し合っている	支援会議にて職員全員で作成をします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			マンネリ化している部分もあるので、児童が飽きないように活動に変化を持たせている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			個別活動(知的・身体)で対応できない場合はグループで活動。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝の朝礼時に一日の活動内容や情報共有を行っている。	全員の時間確保が難しい場合は、事前に役割を決める。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	緊急の申し送りは送迎先から現場に連絡を入れている。	送迎時間がバラバラなので終礼はできないが必要な時その場で話し合うように時間の使い方を工夫する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		日報、看護師記録、リハ記録を毎日残している。	日報に個別の支援記録を記載。その際、できたこと、できなかったことを記載することで、振り返りが可能な状態にしてあります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			上記の日報を基に、達成状況を確認しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			相談員や専門性の高いスタッフが参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		まだ少ないが必要な時は、相談員を通して連携を取っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	1		不十分なので、今後、ネットワークを広げ連携していきたいと思えます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8		必要時には、病院カンファレンスに参加し連携を図った。	月に1回嘱託医の回診があり連携しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			行政、学校との連携がまだ不十分なので体制を整えていきたい。また、一貫した支援を目指すため会議等への参加、支援計画書を情報共有します。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		関係機関との情報共有、連携を取っている。	学校等と連携し、一貫した支援を目指すため会議等への参加、支援計画書を情報共有しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		次年度は外部から講師を招いて勉強会をおこなう予定です。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		コロナの状況が収束後、交流会もできるようになっていきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6		これから連携の形作りを行っていききたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		連絡帳や毎日の送迎時にデイの様子や情報交換を行っている。	送迎時や連絡帳等で情報交換を行い、情報を共有しています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	困っている事、支援についての意見をいつでも聞けるよう声を心掛けている	コロナ禍で集まる事が難しいので、ペアレントトレーニングという形ではありませんが、必要に応じて、個人的に行っています。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に一緒に読み合わせし疑問があればその場で答えられるようにしている。	契約時に説明を行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			児童発達支援ガイドラインの支援内容と計画に基づいてサービスを提供しています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		連絡帳や送迎時などに話が聞けるようにしている。	適切な支援の方向性を知るため、家庭では見せない児童の様子を随時報告し、定期的に面談や助言を行います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	父母会を計画していきたい。	コロナ禍や、保護者のみなさんの仕事の都合上、開催時間が制限されるので、オンラインなどで参加できるようなイベント等を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			連絡帳や、送迎時での保護者との会話の中でこまめに報告しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2		連絡帳を用いて、学校の行事等を保護者から聞き取り、職員に周知し、保護者に対しても連絡帳やホームページにて発信しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		個人情報など重要書類は、鍵付きキャビネットの中に保管している。	鍵付きキャビネット以外にも、PCのパスワード設定にも工夫をしています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			絵、カード等、様々な工夫して児童、保護者とのコミュニケーションを取っています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	将来的に計画していきたい。	コロナ禍で難しが、今後、地域との連携も図ってまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		マニュアルはすべて完成済みだが、保護者、職員への周知が不十分のため改善します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		年2回避難訓練を行なっている	年2回実施
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			病院受診後などに保護者に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		利用開始前に保護者に確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		ヒヤリハット、事故があった時は、早い時期にスタッフで振り返りを行っている。	作成しファイルに保管済みだが、職員への周知が不十分のため周知を図ります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	年間計画を作成している。	木曜日の共通研修にて実施し、今後は管理者も研修講師を行えるように、研修の底上げを図ります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	2	必要な児に対して保護者説明し承諾書をもっている。	今後やむおえず、該当児童が発生した場合、保護者に3つの条件を説明し理解を図ります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。